

1 単元 動物のすみかをしらべよう

2 指導計画（5時間完了）

- (1) 動物のいるところ・・・1時間
- (2) 動物の様子・・・3時間（本時3／3）
- (3) やってみよう・・・1時間
- (4) たしかめよう・学んだことを生かそう・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

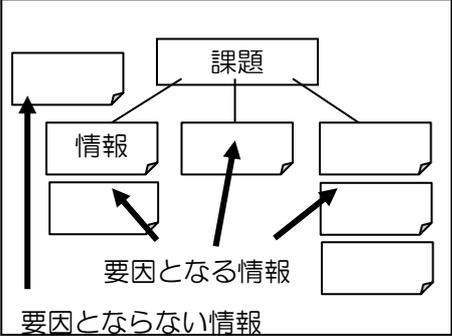
動物のいる場所と動物の様子についてのきまりを考えることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

集めた情報から要因となる情報を取捨選択して整理することで、自分の考えをまとめることができる。

(3) 準備 ワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
2分	1 前時までの学習を振り返る。	○ ワークシートを見て、自分が選んだ動物の生態について、調べた情報を一つずつ付箋に書き出したことを確認させる。
	動物がいつもその場所にいるのは、何か秘密があるのだろうか	
27分	2 調べた情報を基に、考えをまとめる。 (1) 収集した情報を取捨選択する。	○ 以下の作業をさせることにより、課題とその要因となる情報の関連性が一目で分かるようにする。 ① 課題の要因となる情報の付箋は、課題との間に線を引いてつなぐ。ただし、似たような情報が既に線でつながれている場合は、その付箋の下に貼っていく。 ② 課題の要因とならないと思う情報の付箋は、線をつなぐずに別の場所に貼る。
	 <p>要因とならない情報</p>	○ 同じ動物について調べた友達と互いの付箋を見合いながら進めてもよいことを伝える。 ○ 要因とならないのはなぜかという理由も考えるように促す。
15分	(2) 情報を整理する。 3 課題に対する自分の考えをワークシートに記述してまとめる。	○ まとめた情報を線で囲んでグループにした後、共通しているキーワードは何かを考えさせる。 ○ キーワードを用いて考えをまとめるようにする。 ○ キーワードを振り返らせることで、動物がいる場所とその動物の様子や周りの環境が互いに関わり合っているというきまりに気付かせる。
<p>評価事項</p> <p>集めた情報から要因となる情報を取捨選択して整理することで、動物のいる場所と動物の様子についてのきまりを考えて、まとめることができている。 【ワークシートの記述内容】</p> <p>□…考えをまとめることができない児童には、グループになっている情報を見直させたり、「食べ物」「産卵」等のキーワードを確認させたりして、周囲の環境との関わりについて目を向けさせる。</p> <p>☆…動物はその周辺の環境と関わって生きていることを、観察の結果や調べたことからだけでなく、生活経験とも関連付けて他の動物の事例を考えるようにする。</p>		
1分	4 次時の学習内容を確認する。	○ 他の動物についても同じことが言えるのかを考えるように意識させる。

※斜体・・・情報活用能力を育成する学習活動